

CA Performance Management Data Aggregator

概要ガイド

2.4



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本CA株式会社（以下「CA」）により隨時、変更または撤回されることがあります。

CAの事前の書面による承諾を受ければ本ドキュメントの全部または一部を複写、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CAが知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、

(i) 本ドキュメントが関係するCAソフトウェアの使用についてCAとユーザとの間で別途締結される契約または(ii) CAとユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されているCAソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただしCAのすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CAに文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CAは本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CAはお客様または第三者に対し責任を負いません。CAがかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者はCAです。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3)または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルが参照している CA Technologies の製品は以下のとおりです。

- CA Performance Management Data Aggregator (Data Aggregator)
- CA Performance Management Data Collector (Data Collector)
- CA Performance Center
- CA Spectrum

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: 概要	7
Data Aggregator について	7
データの収集方法	8
ファクトリ機能とカスタマイズされた機能	10
インベントリの作成	11
監視対象データの選択	14
イベントルールを持つ監視メトリック	20
マルチテナントの管理	22
Data Aggregator を最適化するリソース	25
用語集	27

第1章: 概要

作業が開始できるようにするため、このガイドでは、Data Aggregator の概念、Data Aggregator の初期設定の動作、独自ニーズに適合するための修正方法を簡略に説明します。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [Data Aggregator について \(P. 7\)](#)
- [データの収集方法 \(P. 8\)](#)
- [ファクトリ機能とカスタマイズされた機能 \(P. 10\)](#)
- [マルチテナントの管理 \(P. 22\)](#)
- [Data Aggregator を最適化するリソース \(P. 25\)](#)

Data Aggregator について

技術が進歩するにつれて、エンタープライズネットワーク環境の監視に使われるツールおよびプロセスのほとんどが急速に時代遅れになります。また、サービスプロバイダにとって、この問題は、サポート対象のテナントの数だけ深刻になります。操作性、ましてやインフラストラクチャのパフォーマンスの最適化をどのように保証したらいいでしょうか。

Data Aggregator は CA Performance Center との統合を行い、進化するエンタープライズネットワーク環境を監視するためのスケーラブルで拡張性がある完全な解決策を提供します。マルチテナントのサポートが組み込まれているこれらの製品を使用すると、サービスプロバイダおよび大企業の管理を簡略化することができます。

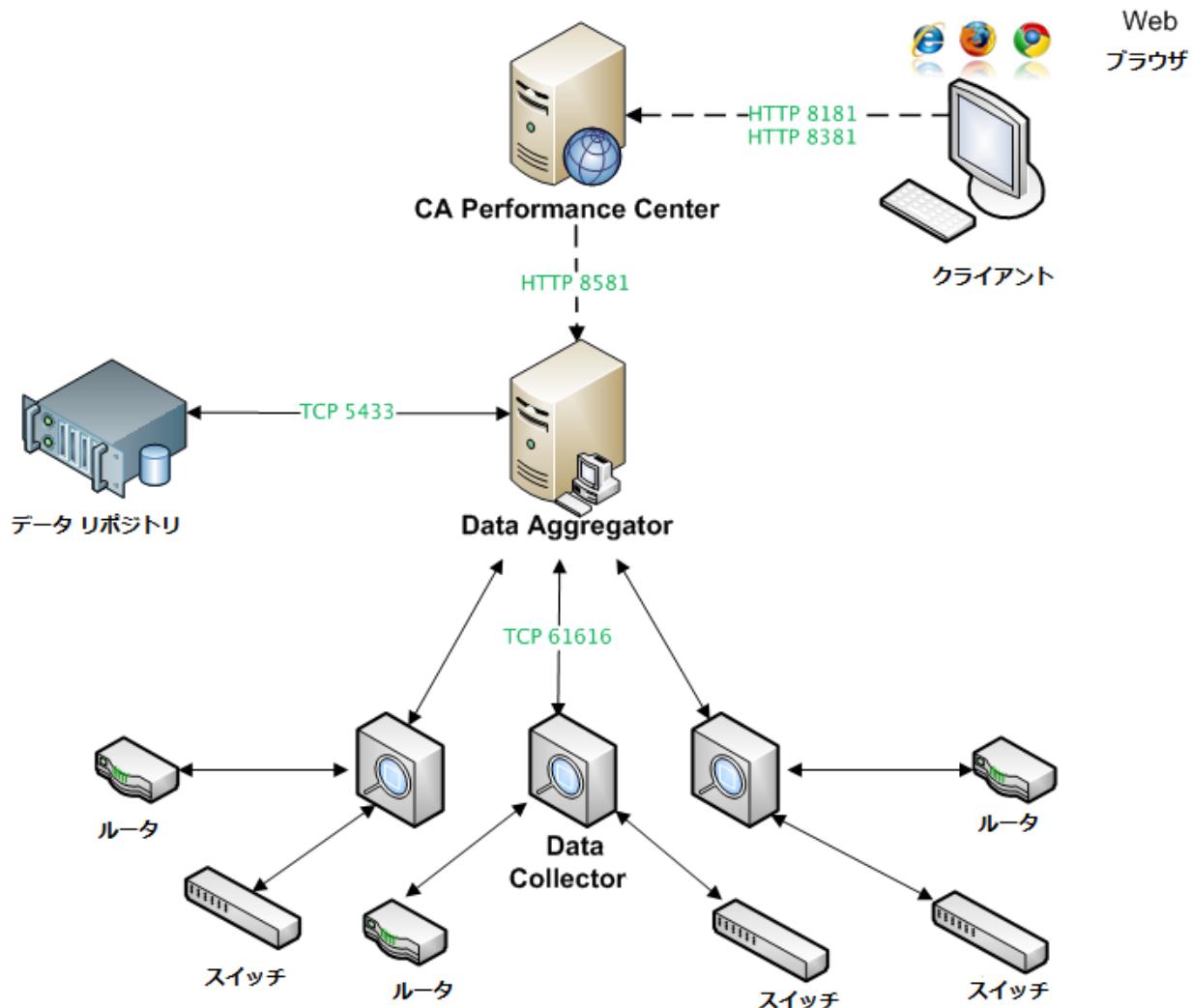
Data Aggregator は「検出」プロセスを介してインフラストラクチャデバイスのインベントリを作成することで機能します。その後、デバイスグループ（「コレクション」）で、どのメトリックデータを収集するかを選択できるようになります。

CA Performance Center は Data Aggregator の設定とインフラストラクチャデータのレポートの両方を実行する Web ベースのユーザインターフェースを提供します。このデータを使用すると、傾向の追跡、パターンの識別、または異常動作のトラブルシューティングを行うためのダッシュボードおよびレポートを作成できます。

データの収集方法

インフラストラクチャを理解し、管理するためには、Data Aggregator によってインベントリが作成される必要があります。Data Aggregator は検出プロセスを通じてインベントリを作成します。Data Aggregator はインベントリを識別した後、各インベントリ デバイスに関する情報を収集し、表示とレポートのために CA Performance Center へ渡します。

以下の図に、Data Aggregator の基本的な展開シナリオを示します。



この図は、インフラストラクチャからデータを収集してレポートを作成するため、Data Aggregator コンポーネントがどのように動作するかを示しています。

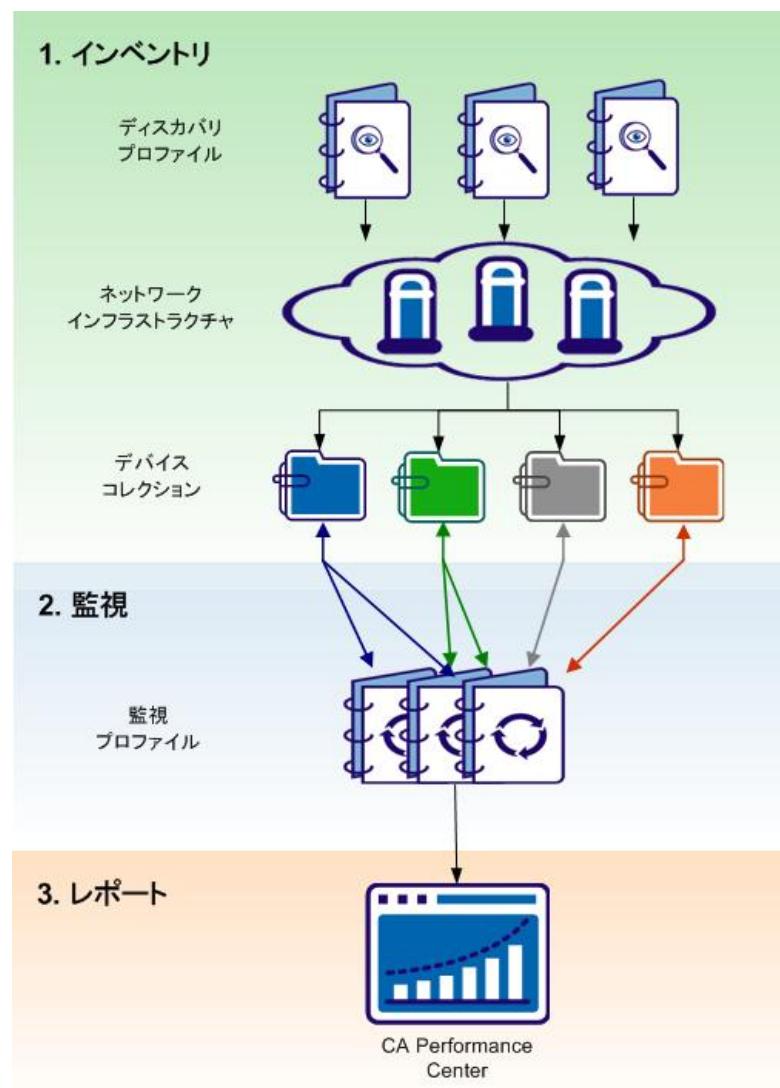
1. Data Collector はデータ収集を調整します。Data Collector コンポーネントは、レポートおよびイベント解析に使われるデータをアクティブにポーリングします。インフラストラクチャの規模に十分に対応できるように、インフラストラクチャ全体にわたって複数の Data Collector コンポーネントを展開できます。
2. Data Aggregator は、各 Data Collector からデータを収集し、Data Repository に格納します。
3. CA Performance Center は、Web ベースのインターフェースで、Data Aggregator を設定して物理および仮想ネットワーク、アプリケーション、およびデバイスを管理します。また CA Performance Center ダッシュボードおよびビューは、Data Aggregator (データ ソース) が収集および処理を行ったパフォーマンス データを表示します。

注: 展開戦略の詳細については、「*Data Aggregator リリース ノート*」を参照してください。

ファクトリ機能とカスタマイズされた機能

Data Aggregator は初期設定でただちに結果が得られるように設定されています。インストール後に必要な手順は、ディスカバリ プロファイルを作成して実行するだけです。このプロファイルは Data Aggregator に、デバイスの場所とインベントリの作成方法を通知します。

Data Aggregator はデフォルトの監視設定を使ってただちに作業を開始します。Data Aggregator は、検出されたインフラストラクチャ内のデバイスに関するデータの監視と収集を行います。



以下に示すように、Data Aggregator は 3 つの段階でインフラストラクチャを監視します。

1. **インベントリ** -- Data Aggregator はディスカバリ プロファイルを使用して、デバイス インベントリを作成します。デバイスはタイプに基づいて、デバイス コレクションに追加されます。
2. **監視** -- Data Aggregator はデバイス コレクション内のデバイスごとに、対応する監視プロファイルを使用して、メトリック データを収集します。また、Data Aggregator はイベント ルールを使用してデバイスの状態を監視します。
3. **レポート** -- インフラストラクチャに関するデータが CA Performance Center ダッシュボードおよびビューに表示されます。

適切なレベルの詳細情報を提供すると同時に、最適なパフォーマンスを実現するには、必要に応じて、デフォルト プロファイルを調節します。

注: インストールの詳細については、「*Data Aggregator インストール ガイド*」を参照してください。データ ソースの登録の詳細については、「*CA Performance Center 管理者ガイド*」を参照してください。監視設定の管理に関する詳細は、「*Data Aggregator 管理者ガイド*」を参照してください。

インベントリの作成

Data Aggregator を動作させるには、デバイス インベントリを作成する必要があります。Data Aggregator はディスカバリ プロファイルを使用して、インベントリを作成します。ディスカバリの実行後、Data Aggregator は適切なデバイス コレクションにデバイスを追加します。

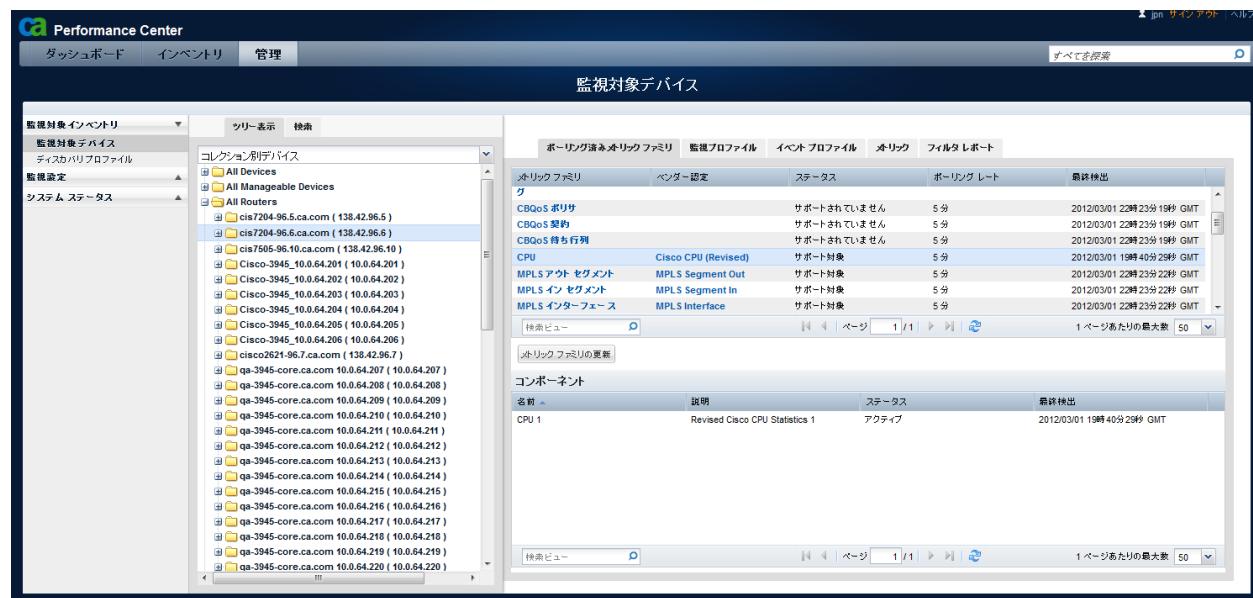
注: Data Aggregator には標準で提供されるファクトリ ディスカバリ プロファイルが用意されていないため、開始用のプロファイルを少なくとも 1 つ作成する必要があります。

インベントリの管理およびモニタに必要な情報はすべて、CA Performance Center で入手できます。管理者として [管理] メニューでデータ ソースを開くと、ディスカバリ プロファイルリストが表示されます。



The screenshot shows the CA Performance Center interface with the 'Management' tab selected. On the left, a sidebar lists 'Discovery Profile' under 'Monitoring Object Inventory'. The main content area displays a table titled 'Discovery Profile' with columns for 'Name', 'Domain', and 'Status'. All entries show 'Default Domain' and '准备完了' (Completed) status. The table includes entries for DiscoveryProfile_10.0.64.201~ and DiscoveryProfile_138.42.96.5~.

ディスカバリの実行後、監視対象デバイスリストにデバイスが表示されます。



The screenshot shows the CA Performance Center interface with the 'Management' tab selected. On the left, a sidebar lists 'Discovery Device' under 'Monitoring Object Inventory'. The main content area displays a table titled 'Discovery Device' with columns for 'Discovery Profile', 'Vendor', 'Status', 'Polling Rate', and 'Last Poll'. The table includes entries for CBQoS ボリサ, CBQoS 異内, CBQoS 異行, CPU, MPLS アウト セグメント, MPLS イン セグメント, and MPLS インターフェース. Below the table is a 'Discovery Profile' list showing various Cisco devices and their IP addresses.

ディスカバリ プロファイルのカスタマイズ

パフォーマンスを最適化するため、複数のプロファイルを作成して、さまざまなデバイス用のディスカバリ オプションをカスタマイズすることができます。設定可能なオプションは以下のとおりです。

- IP アドレスまたはホスト名を使用する 1 つ以上のデバイスの検出
- スケジュール間隔

- デバイス命名オプション
- ICMP ディスカバリ

たとえば、以下のような状況に対するディスカバリ プロファイルを作成できます。

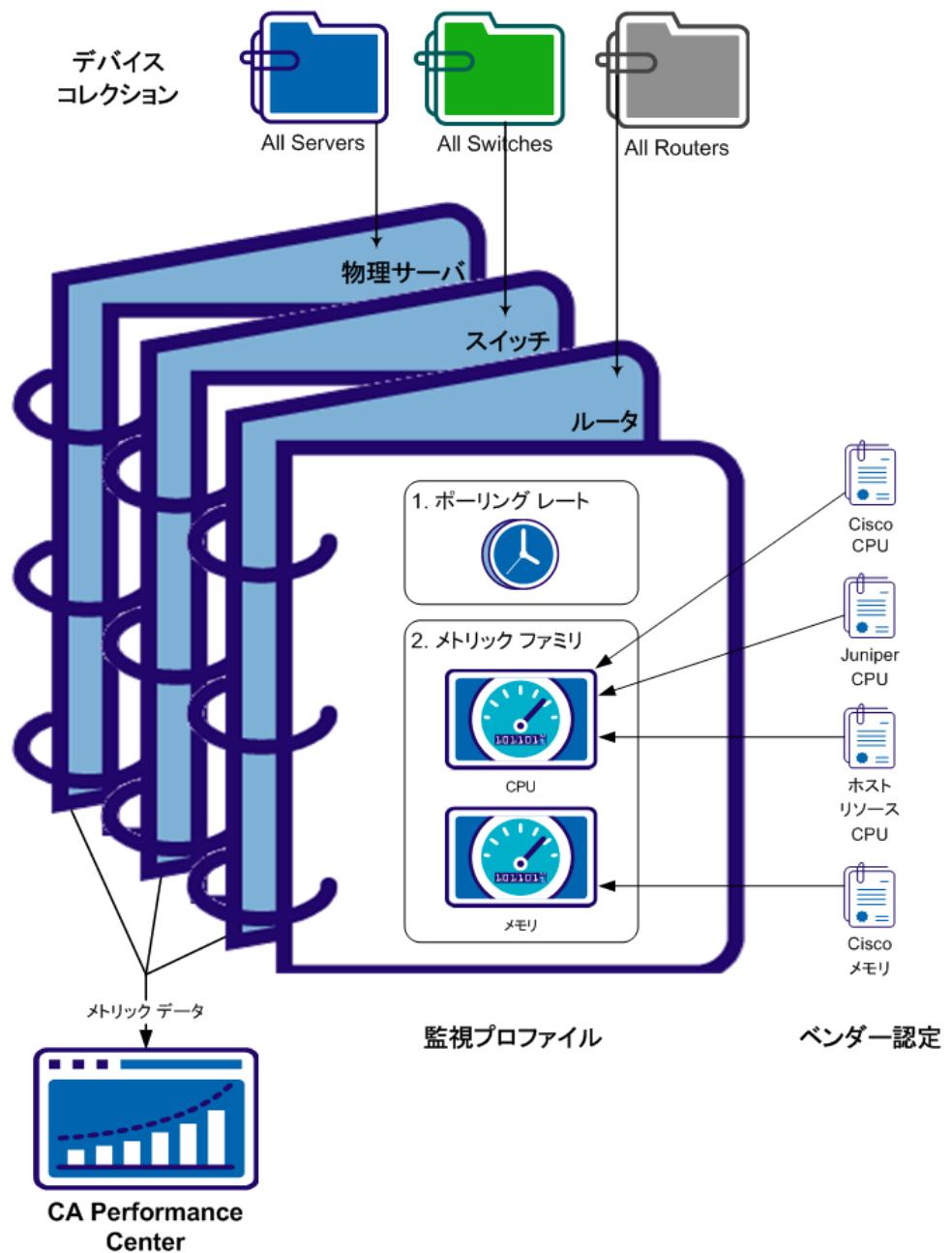
- 東海岸の支社用に週単位のディスカバリをスケジュールする。
注: 地域/テナントごとにディスカバリ プロファイルおよび IP ドメインを設定することを推奨します。SNMP プロファイルが各 IP ドメインを適切にサポートしていることを確認してください。
- 新規ホストをオンライン状態にした後、そのホストを手動で検出します。
- テナントごとにディスカバリ プロファイルを作成します。
- 外部ファイルのアドレスまたはホスト名を使用するディスカバリ プロファイルを作成します。
- 新規デバイスがオンライン状態になることが予定されている場合は、IP アドレス範囲のディスカバリをスケジュールします。

注: ディスカバリ プロファイルの詳細については、「Data Aggregator 管理者ガイド」を参照してください。SNMP プロファイルとテナントの詳細については、「CA Performance Center 管理者ガイド」を参照してください。

監視対象データの選択

初期設定の Data Aggregator は、表示されているように、デフォルトの監視プロファイルおよび認定を使用して、デバイスに関する基本データを収集するように設定されています。

注: 追加のデータを収集するには、[監視設定をカスタマイズ](#) (P. 17) します。



以下に示すように、Data Aggregator は以下のコンポーネント間の関係を使用して、デバイスからデータを収集します。

- **デバイスコレクション**—デバイスコレクションは類似するデバイスのグループです。これらのグループは、デバイス タイプ (ルータなど) またはサービス レベル (高可用性/高頻度のポーリングなど) に基づいて分類できます。
- **監視プロファイル**—監視プロファイルはポーリング レートおよびメトリック ファミリのセットを定義します。監視プロファイルをデバイスコレクションに関連付けると、Data Aggregator はそのデバイスコレクション内の全デバイスをポーリングすることを認識します。監視プロファイルは1つ以上のデバイスコレクションに関連付けることができます。
- **メトリック ファミリー**—メトリック ファミリーは1セットの関連するメトリックを定義し、各メトリックの値をレポートする方法を決定します。監視プロファイルは同じメトリック ファミリーを再利用できます。
- **ベンダー認定**—ベンダー認定は、ベンダー MIB 属性をメトリック ファミリーのメトリックにマッピングすることで、サードパーティベンダー製のデバイスをサポートします。これらの値をマッピングすると、デバイスベンダーにかかわらず、Data Aggregator はメトリック値を一様にレポートすることができます。

これらのプロファイルおよび認定を合わせて処理することで、CA Performance Center にどのメトリック データを送信するのかが決まります。

重要: 監視プロセスの開始および停止で重要なのはデバイスコレクションです。Data Aggregator で監視プロファイルを使用するには、少なくとも1つのデバイスコレクションに監視プロファイルを割り当てる必要があります。

CA Performance Center を使用して、これらのデバイスコレクション、プロファイルおよび認定の関係を管理できます。管理者として [管理] メニューでデータソースを開くと、[監視設定] が表示されます。

名前	ポーリング レート
Availability	5分
Inter-Networking Function	5分
Microsoft Cluster Service	5分
Mobile Wireless	5分
MPLS	5分
Network Interface	5分
Physical Server	5分
QoS	5分
Reachability	5分
Response Path	5分
Router	5分
Switch	5分
Virtual Server	5分

名前	フィルタ済み
CPU	いいえ
メモリ	いいえ

監視設定のカスタマイズ

適切なレベルの詳細情報を提供しつつ最適なパフォーマンスを実現するには、以下の条件を満たすようにデフォルトの監視設定を調節します。

- 使用するメトリックデータが利用可能であること
- 使用しないメトリックデータを無視すること
- メトリック値が正しくフォーマットされていること
- ネットワークパフォーマンスへの影響が最小であること

コレクションについては、常にカスタムデバイスコレクションを作成することをお勧めします。カスタムデバイスコレクションは、以下の点で有用です。

- 不要なポーリングデータを最小化します。
- 監視対象インフラストラクチャ上のネットワーク管理トラフィックおよび負荷を減らし、監視のパフォーマンスを向上させます。
- 特定のデバイスコレクションに対して改良された監視プロファイルを適用することで、監視設定をより詳細に制御します。

監視プロファイルについては、監視プロファイルを新規作成するか、ファクトリプロファイルをコピーして、以下の点を調整（カスタマイズ）します

- ポーリングレート（例：[Physical Server]プロファイルのポーリングレートを低下させる）
- メトリックファミリー--メトリックファミリを選択または削除して、収集するメトリック値を調整します（例：監視プロファイルからメトリックファミリを削除して、デバイスコレクションに対してポーリングされるメトリック値を減らします）。
- フィルタリング--コンポーネントフィルタリングを設定して、監視するインターフェースを決定します。Data Aggregatorでは、複合フィルタリングルールを使用できます。

- デバイスコレクション--関連付けるデバイスコレクションを設定して、監視対象デバイスを決定します(例:カスタムデバイスコレクションをサポートするカスタム監視プロファイルを作成する)。

注: Data Aggregator には、豊富な監視プロファイルセットが用意されています。これらのプロファイルのほとんどは、インターフェース監視プロファイルなど、どのデバイスコレクションとも関連付けられていません。

ヒント: ファクトリ監視プロファイルをデバイスコレクションに関連付けないでください。代わりに、常にコピーをテンプレートとして使用します--名前、ポーリングレート、メトリックファミリ、および任意のフィルタおよびイベントルールを設定します。次に、それをカスタムデバイスコレクションに関連付けます。ファクトリ監視プロファイルは変更される場合があるので、このプロセスはユーザの監視環境への影響を最小化するのに役立ちます。

- コンポーネントの変更検出--コンポーネントの設定データを自動的に更新するかどうかを選択します。また、変更の検出レートを設定します(例:インターフェースなど、頻繁に変更されるコンポーネントの変更の検出レートを増加させる)。

メトリックファミリでは、初期設定でサポートされていないメトリック値を収集するメトリックファミリを作成します。たとえば、以下のようになります。

- プロセスマトリックファミリ
- アプリケーションメトリックファミリ

ベンダー認定について、上級管理者は Data Aggregator がサードパーティがファクトリ認定を提供しないサードパーティ製のデバイス用に、ベンダー認定を作成できます。開始用のベンダー MIB が必要です。

注: メトリックファミリおよびベンダー認定の詳細については、「Data Aggregator 自己認定ガイド」を参照してください。デバイスコレクションおよび監視プロファイルの管理の詳細については、「Data Aggregator 管理者ガイド」を参照してください。

イベント ルールを持つ監視メトリック

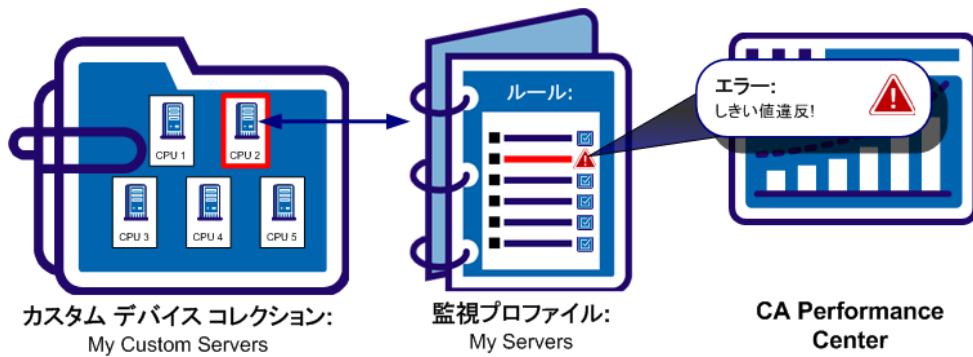
イベントは、ネットワーク環境の健全性およびステータスの監視に役立つ情報を提供します。Data Aggregator のイベントは CA Performance Center で表示するか、SNMP トランプとして他のアプリケーションに転送されるか、他のエンジニアに電子メールで送信されます。CA Spectrum が CA Performance Center と統合されている場合は、CA Spectrum にイベントを送信して、障害管理およびインシデント管理を強化できます。

Data Aggregator は、監視プロファイルに含まれているイベントルールを評価するとすぐに、イベントを生成します。（メトリックファミリからの）メトリックを使用して、これらのルールは、監視対象の条件を定義します。

イベントルールを実装するには、監視プロファイルをカスタム デバイスコレクションに関連付けます。

重要: 監視プロセスの開始および停止で重要なのはデバイス コレクションです。Data Aggregator がイベントルールを評価するのは、親監視プロファイルが特定のデバイスコレクションに関連付けられている場合のみです。関連付けされていない場合、イベントルールは無視されます。

Data Aggregator は直ちに、監視プロファイル内のイベントルールを対象デバイスコレクションのデバイスに適用します。これらのデバイスに対してポーリングされたメトリック値を使用して、必要に応じてイベントルールによりイベントがトリガされます。



イベントは CA Performance Center ダッシュボードに表示されます。

注: Data Aggregator で処理およびロギングされたイベントから、CA Spectrum の表示アラームを生成できます。 詳細については、CA Spectrum のドキュメントを参照してください。

イベントルールのカスタマイズ

Data Aggregator がユーザにとって重要なイベントのみを生成するように、イベントルールをカスタマイズします。複数のイベントルールを作成することができます。たとえば、さまざまなデバイスコレクションのメモリメトリックに対して、異なるしきい値を適用できます。Data Aggregator によるイベント監視をカスタマイズするその他の方法は、以下のとおりです。

- 監視プロファイルに対してデバイスコレクションを割り当て、または削除する。
- 監視プロファイルに対してイベントルールを追加または削除する。
- しきい値、重大度レベルなど、ルールの値を調節する。

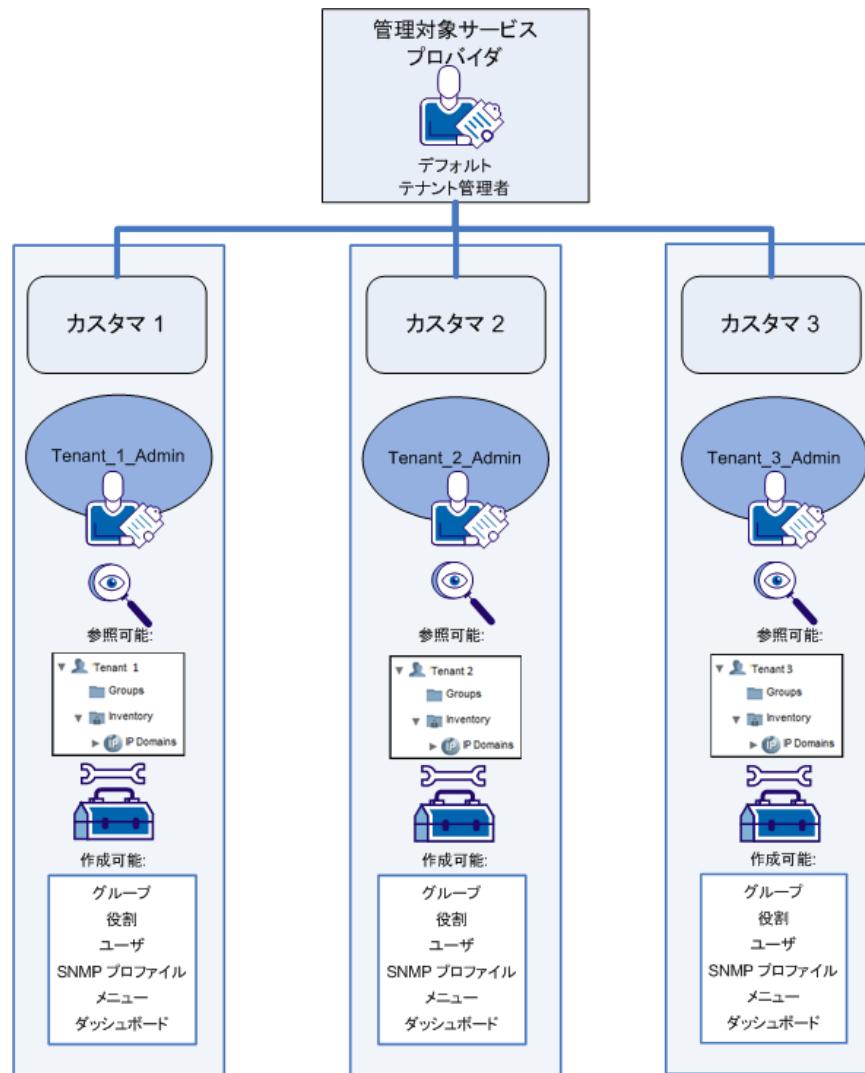
注: イベントルールの管理の詳細については、「*Data Aggregator 管理者ガイド*」を参照してください。

マルチテナントの管理

Data Aggregator はサービス プロバイダまたは大企業に対して、マルチテナント（複数のユーザ グループにまたがって同じツール展開の使用を共有できる機能）をサポートします。テナントは、サービス プロバイダが管理する顧客（ユーザ グループ）を表します。この機能を使用することにより、複数のテナントを作成し、環境を個別に監視することができます。

マルチテナントは管理対象サービス プロバイダに対して特に有用ですが、大企業もこの機能を適用できます。たとえば、複数の部門または支社を個別に管理することが可能です。

テナントの相違はレベルごとに完結しています。あるテナントに割り当てられたユーザは、他のテナントからのデータを見ることはできません。IPアドレスの範囲が重複している場合でも、Data Aggregator はテナントごとに一意の IP ドメインを使用して、この区別を保証します。マルチテナントを展開する場合、Data Aggregator はデフォルトテナント管理者とテナント管理者という 2 つの別個の管理者役割をサポートします。



デフォルトテナント管理者は、以下の Data Aggregator コンポーネントの作成および管理を行います。

- 監視プロファイル
- メトリック ファミリ
- ベンダー認定

テナント管理者は、以下のように、自分の環境にこれらのコンポーネントを適用することに責任を負います。

- デバイスコレクションと監視プロファイルとの関連付け
- ディスカバリプロファイルの作成および管理
- SNMPプロファイルの作成および管理
- Data Collectorインストールの開始と停止

デフォルトテナント管理者は、「管理」機能を使用して個別のテナント環境を管理できます。[管理]メニューから[テナントの管理]ビューを開き、テナント環境を選択します。



テナント					
名前	アカウント ID	説明	ステータス	テーマ	言語
Default Tenant		Performance Center デフォルト テナント	有効	CA-Blue	英語 (US)
AutoWS_Template_js-JP-Kanji	Template_js-JP	Tenant to use in tests which will clone thi...	有効	rubicon	日本語

注: マルチテナントの導入の詳細については、「*CA Performance Center 管理対象サービスプロバイダガイド*」を参照してください。デフォルトテナント管理者およびテナント管理者のタスクの詳細については、「*Data Aggregator 管理者ガイド*」を参照してください。

Data Aggregator を最適化するリソース

基本的なセットアップを設定した後に、以下のガイドを確認して、Data Aggregator の使用方法を最適化する以下の追加タスクについて検討してください。

「CA Performance Center 管理者ガイド」および「CA Performance Center オペレータガイド」：

- ユーザアカウントの作成および管理
- テナントの作成および管理
- 必要とするデータを強調表示するための CA Performance Center でのカスタムダッシュボード、レポートおよびビューの作成

「Data Aggregator 管理者ガイド」：

- ポーリング キャッシュまたは大規模展開用のメモリ使用率の調節
- インターフェース フィルタの設定により不要なデータ収集を回避
- 監視が不要になったデバイスの削除
- デバイス再構成設定の調整により、Data Aggregator がインフラストラクチャ内のコンポーネントの変更を管理する方法を判断
- ホスト サーバ上でメンテナンスを実行するための Data Aggregator、Data Collector、または Data Repository の開始または停止

「CA Performance Center Single Sign-On ユーザガイド」：

- 認証設定の設定により、CA Performance Center と Data Aggregator の間のシングルサインオンを有効化

「Data Aggregator REST Web サービスを使用した管理ガイド」：

- SNMP トラフィックおよびタイムアウトしきい値の設定により、機密性の高いデバイスのパフォーマンスを改善
- REST Web サービスを使用して、データの取得、プロファイルとテナントまたはデバイスコレクションの関係の管理など API を使用した管理操作に対応

「Data Aggregator RIB API ガイド」：

- Data Aggregator データベースにアクセスする Web サービス インターフェースを使用した、カスタム レポートの作成

用語集

Data Collector

Data Collector は、データ収集を調整し、レポートおよびイベント分析に使用されるデータをアクティブにポーリングします。オペレーションナルメトリックと設定データは、検出されたデバイスおよびその監視対象コンポーネント上でポーリングされます。収集されたデータは **Data Aggregator** を通して渡され、**Data Repository** に格納されます。

SNMP プロファイル

SNMP プロファイル は、SNMP を使用するデバイス MIB の安全なクエリを有効にするために必要な情報が含まれる定義です。

アイテム

アイテムは、**Data Aggregator** が監視するデバイス、コンポーネント、またはインターフェースです。

監視プロファイル

監視プロファイルはデバイスのコレクションに関連付けられ、ポーリングするための情報およびポーリング レートを指定します。これらのパラメータはデバイス コレクション内の各デバイスに適用されます。ルータ、スイッチおよびサーバなどのデバイスのタイプに基づいて取り揃えたデフォルトの監視プロファイルが用意されています。

監視プロファイルには、関連デバイス コレクション内の各デバイスアイテムに適用されるイベントルールも含まれています。ルール評価は、デバイス コレクション内の各デバイスアイテム、およびイベントルールに指定した各メトリックに対して行われます。これらのルール評価によって、発生イベントまたはクリアイベントが生成されます。その後、これらのイベントは、**CA Performance Center**、**CA Spectrum**、および **CA Performance Center Notifier** のイベント マネージャに送信され、さらに処理されます。

ダッシュボード

ダッシュボードは、CA Performance Center ユーザインターフェース内で動的にレポートを作成するページです。これらは、[ダッシュボード] タブからアクセス可能なメニューアイテムとして表示されます。各ダッシュボードは、単一の Web ページ上の登録済みのデータ ソースからのデータを表示するビューのコレクションです。各ダッシュボードのレイアウト、ビュー、時間間隔、およびグループ コンテキストは、カスタマイズできます。

ディスカバリ プロファイル

ディスカバリ プロファイルでは、インベントリ ディスカバリがどのように動作するか、また、デバイスの特定に使用される IP アドレス、IP アドレス範囲、およびホスト名などを指定します。

データ ソース

データ ソースは、パフォーマンス データおよび設定データを CA Performance Center に提供するサポート対象製品です。データを監視、収集、集計するデータ ソース製品は、多くの場合独立して機能します。ただし、CA Performance Center のインスタンスに登録されると、データ ソースとして認識されます。

デバイス コレクション

デバイス コレクションは、サーバやルータなどの監視対象デバイスの論理グループです。

ビュー

ビュー、またはデータ ビューは通常、グラフまたは表形式で統計データを示します。各ビューは、収集されたデータの個別のセットを表します。ユーザアカウントの役割の権限に応じて、ダッシュボード ページに個別のビューを追加および編集、または削除できます。場合によっては、データを CSV 形式のファイルにエクスポートできます。

ファクトリ

Data Aggregator の「ファクトリ」という語は、CA Technologies が提供するアイテムを表し、多くの場合は製品にインストールされています。たとえば、Data Aggregator はファクトリ ベンダー認定、監視プロファイルなどを提供します。すぐに使用できるこれらのアイテムによって、Data Aggregator はインストールしてすぐに操作することができます。これらは、同じアイテムのカスタム バージョンの作成またはインポートの例としても使用できます。ほとんどの場合、Data Aggregator ユーザはこれらのファクトリ アイテムを編集できません。

ベンダー認定

ベンダー認定は、ベンダー MIB の属性を、メトリック ファミリで指定されたメトリックへマップします。またベンダー認定は、アイテムから収集されたメトリックが **CA Performance Center UI** およびレポートでの使用に対してどのようにフォーマットされるかを決定します。アイテムに対して提供されるメトリックは、アイテムのベンダーによって変わる場合があります。これらの値をマッピングすると、ベンダーに関係なく、メトリック値を一様にレポートすることができます。別のベンダー認定を同じメトリック ファミリに関連付けることができます。複数のベンダー認定を 1 つのメトリック ファミリに適用する場合、**Data Aggregator** は、ランク付けされたベンダー認定のリストを使用してメトリック値をマッピングします。そのため **Data Aggregator** は、ポーリングされたアイテムと一致する、最も高い優先度のベンダー認定を使用してメトリック値を計算します。

メトリック ファミリ

メトリック ファミリは、指定されたテクノロジーに対して収集しレポートする値のセットを定義します。レポートがデータ ソースにかかわらず均一になるように、これらの値は正規化されます。監視プロファイル内に含まれているとき、メトリック ファミリはその監視プロファイルと関連付けられるデバイスに対してどの値を収集する必要があるか決定します。

レポート

レポートは、オンデマンドで選択した内容またはエクスポートされたダッシュボードページからの静的な出力です。ダッシュボードからエクスポートしたレポートは、関連するダッシュボードにデータおよび情報から静的なデータ セットを作成します。オンデマンドのレポートは、インベントリ内の単一の管理対象アイテムまたはそのグループからのデータ セットをキャプチャします。レポートは、印刷、電子メールでの送信、PDF や CSV 形式でのエクスポートなどが可能です。各形式に対して、選択したデータ セットがキャプチャされます。